

1 黒星病対策について

(1) 落葉処理の見直し

落葉した黒星病秋型病斑からの1次感染源である「子のう孢子」飛散は、3月中下旬頃から本格的に始まると予想されます。

落葉処理が終了した園地でも、葉が原型のまま残っていないか早急に再度確認をお願いします。

(2) これからの防除について

☆開花期前後の防除は、**黒星病の発生を左右する年間を通じて最も重要な防除です!!**

☆防除は「降雨前」、SSは「低圧、低速、全列走行」を心掛け、散布ムラがないように努めてください。

| 回数 | 散布月日 | 薬剤名と濃度 | 散布量 | 主な対象病害虫 | 防除実施日 (自己記入) |
|--|------------------------|--|----------|---|-----------------|
| 特散 | 3月18~20日 (萌芽期) | デランフロアブル 1,000倍 | 300 ℓ | 黒星病 | |
| ※昨年黒星病の発生が多かった園地・品種に対して防除してください。 | | | | | |
| 1 | 3月26~28日 (りんぼう脱落直前) | デランフロアブル 1,000倍 | 300 ℓ | 黒星病、赤星病、心腐れ症(胴枯病菌) | |
| 2 | 4月3~5日 (りんぼう脱落期) | ベルコートフロアブル 1,500倍 ダイアジノン水和剤 34 1,000倍 | 300 ℓ | 黒星病、輪紋病 ハマキムシ類、シンクイムシ類、アブラムシ類 | |
| ※「幸水」長果枝のりんぼうが脱落したことを確認して防除を実施してください!! ※脱落前のりんぼうに農薬が付着しても、りんぼう脱落后に農薬付着が不十分な組織が現れ、感染リスクが高まります。 | | | | | |
| 3 | 4月10~12日 (開花直前)1分咲き | スコア顆粒水和剤 4,000倍 ベルコートフロアブル 1,500倍 | 300 ℓ | 黒星病、赤星病 輪紋病、黒斑病、うどんこ病 | |
| 4 | 4月19~21日 (落花直後) | デランフロアブル 1,000倍 | 300 ℓ | 黒星病、赤星病、心腐れ症(胴枯病菌) | |
| 5 | 4月27~29日 (落花10日後) | オーシャイン水和剤 4,000倍 トレノックスフロアブル 500倍 ハチハチフロアブル 2,000倍 | 300 ℓ | 黒星病、赤星病、心腐れ症(胴枯病菌) ニセナシバダニ、アブラムシ類、クワコナカイガラムシ | |
| 特 | 4月25日~ 4月30日頃 | コンフューザーN 150本/10a | | リンゴコカクモンハマキ、モモシンクイガ、ナシヒメシンクイ | |

●天候等の都合により防除間隔が10日以上空かないよう十分注意してください(10日以上空くと農薬の残効が切れ黒星病の感染リスクが高まります)。雨天が予想される場合は、雨前散布を心掛けてください。

●黒星病の芽基部病斑は見つけ次第、早急に切除して園外に持ち出し、適正に処分してください。

●今後の生育状況や黒星病子のう孢子飛散状況によっては、**防除日を変更する場合があります。**
(その場合、速やかにお知らせします)。

2 開花予想について

向こう1カ月の天候は、平均気温が高い確率70%と予想されています(3/11新潟気象台発表)。

なお、今後の気温が平年並みに推移した場合、各品種の開花予想は右表のとおりです(3月11日現在)。

| 令和3年予想(3/11現在) | | |
|----------------|-------|-------|
| 品種名 | 開花始め | 満開日 |
| 幸水 | 4月14日 | 4月18日 |
| 豊水 | 4月11日 | 4月15日 |
| あきづき | 4月12日 | 4月15日 |
| 新高 | 4月9日 | 4月12日 |

※今後の気温が平年並みに推移した場合

3 人工受粉の留意点

(1) 受粉は暖かい降雨の無い日に行いましょう!

気温が低い時間帯や降雨中の人工受粉では、花粉が発芽しなかったり、めしべに付かなかつたりする恐れがあります。15℃以上の気温が3時間以上続くのを見計らって受粉を行いましょう。なお、受粉後3時間以内に降雨があった場合には受粉をやり直しましょう。

(2) 花粉の管理はしっかりと!

貯蔵花粉を使用する場合は、発芽率を十分確認してから使用してください(本年も貯蔵花粉の発芽率調査を実施します。下記参照)

- 発芽率が「◎」(発芽率70%以上)のものは増量可能な良い花粉として扱えます。
- 発芽率が「○」(発芽率70~50%)および「△」(発芽率50~30%)のものは増量せずに使用してください。
- 発芽率が「×」(発芽率30%以下)のものは発芽率の高い花粉の増量剤としてのみ使用してください。

4 霜害対策

(1) 気温の低下軽減

低温層の発生位置を出来るだけ低くするため、草生栽培園では短く刈り、棚面付近の気温低下の軽減を図ってください。

(2) 冷気の停滞および流れ込み防止

冷気の流れがせき止められるような位置に防風ネットなどの遮へい物があると、園内が低温になるので、巻きあげて冷気の通過を促してください。なお、冷気が流入してくる方向にはネット等を張り、冷気の流入を防ぐよう努めてください。

(3) 燃焼法による防止

練炭(燃焼時間8時間程度)、固形燃料(オガライト 燃焼時間1時間程度)、モミガラなど、炎、ばい煙の発生が少ない燃焼材料を用いて園内の温度上昇や空気の対流促進を図りましょう。

5 貯蔵花粉の発芽試験を実施します

| | 受付月日 | 受付時間 | 受付場所 | 結果の報告 |
|-----------|----------|----------|------|---------------------------|
| 旧 第1選果場管内 | 3月17日(水) | 午前9時~10時 | 梨会館 | 受付翌日、梨会館入り口 |
| 旧 第2選果場管内 | 3月18日(木) | 午前9時~10時 | 梨会館 | 受付翌日、梨会館入り口 (射水市は別途対応) |

※発芽試験の24~48時間前に、試験に使う分のみを冷凍庫から取り出し、直射日光と暖房を避けて保管・準備してください。

☆梨メールを是非活用下さい!! ☆

本年も防除時期の案内や黒星病の発生リスクなどについて情報提供しますので、積極的な活用をお願いします。新たに希望される方、メールが届かなくなった場合など、下記のアドレスへお名前、電話番号と、「梨メール希望」と入力してお送り下さい。

<送信先メールアドレス: masanobu.nanjo@pref.toyama.lg.jp >

【お問い合わせ】 富山農林振興センター担い手支援課園芸振興班 担当: 南條 tel.076-444-4523